

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

5-II-8

5-II
-8

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地元特産品の販路拡大
	節 II. 伝統文化・地場産業の振興			
事業(施策)名	8 佐渡特産品の販路拡大		事業主体	佐渡市産業振興課
			関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 佐渡金銀山ブランドを活用した販売促進戦略により、佐渡全体のイメージ向上と、佐渡特産品の販路拡大を図る。</p>			
	<p>【事業内容】</p> <p>○ 首都圏等での物産展や雑誌、ホームページ、SNS等各種広報媒体において佐渡金銀山のPRIに合わせて、佐渡特産品の展示・販売を積極的に行う。</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● サドメシラン認定店舗を中心とした販路拡大を図っており、現在、市外の認定店舗における佐渡産品の流通額は約2億円に達している。</p> <p>● 物産については、商談や常設販売等の販路開拓に繋がるものについて経費の一部補助を行っているほか、出店者の希望に応じ、PRグッズ(法被、のぼり、ポスター、観光DVD等)の貸し出しを行っており、出店者自らが現地で佐渡をPRできるよう努めている。H28年度は、市外認定店舗における認定基準の見直しを行い、すべての店舗において、年間を通じて必ず1品目以上の佐渡産メニューを提供することとした。</p>			
	<p>【課題】</p> <p>■ 消費ニーズに合った生産の拡大が急務となっている。</p>			
今後の取組・課題	<p>【今後の取組】</p> <p>■ 担当課と連携し、消費ニーズにあった生産拡大を進めるとともに、新製品の開発の際には認定店舗への積極的な利用を促すほか、客単価の高い店舗や高品位なホテル等への食材提案を行う。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a (b) ・ c]</p>			
	<p>【事業実施の効果】</p> <p>[a (b) ・ c]</p> <p>◇ H28年度については11店舗が新たに認定され、それに伴って販路拡大・佐渡産品の使用拡大を図ることができた。しかしながら、需用に対し、生産が追いつかないという点で需給ニーズのミスマッチが生じている。</p>			
	<p>【総合評価】</p> <p>[A (B) ・ C]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。